

- 記者発表資料 -

**「東京湾大感謝祭2018」にて、平成29年度土木学会選奨  
土木遺産に認定されている京浜港ドックの見学会および  
海の潜水土デモンストレーションを開催します**

東京湾大感謝祭2018の開催に合わせて、土木遺産の文化的価値の評価や地域・社会の皆様への理解を深めていただくために、国土交通省関東地方整備局が所有する「京浜港ドック」(横浜市神奈川区)の見学会を実施します。

京浜港ドックは、1926年(大正15)に完成した、大型ケーソンを製作するドライドックで、近代横浜港の整備に大きな役割を果たしました。平成29年9月には、土木学会選奨土木遺産にも認定されました。見学会では、関係者以外の立ち入りが制限されている歴史的な建造物を間近で見ることができます。

見学会と同時に、海水を注水したドック内で潜水土による潜水作業のデモンストレーションを実施します。デモンストレーションでは、最新の水中可視化技術の活用により、濁りのある水中にいる潜水土を陸上でリアルタイムに確認することができます。また会場では、潜水土の装備や機器の実物を展示します。

■京浜港ドック見学会および海の潜水土デモンストレーション

開催期間 : 平成30年10月20日(土)～平成30年10月21日(日)

開催時間 : 10:00～17:00(最終日は16:30)

会 場 : 京浜港ドック(横浜市神奈川区山内町1-2)

備 考 : 東京湾大感謝祭の会場(横浜赤レンガ倉庫)から無料連絡バスがあります。  
京浜港ドックに直接来場も可能ですが、駐車場はありません。ご注意ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 課長補佐

海洋環境・技術課 係長

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや  
久保 哲也

すが たかし  
菅 崇

電話 045-211-7420

FAX 045-211-0204

平成29年度 土木学会選奨土木遺産認定

# 京浜港ドック見学会

## —海の潜水士デモンストレーション—



潜水作業状況例  
(フーカー式潜水) 当日実演



潜水作業状況例  
(ヘルメット式潜水) 装備展示



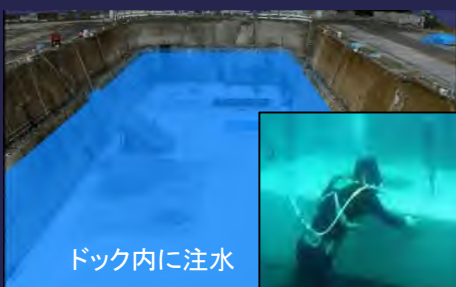
↑ ドローン空中測量による現在の京浜港ドックの3DCG



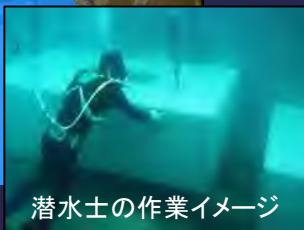
南部めぐり  
種市高校  
海洋開発科

じぇじぇじぇ!  
あのドラマで有名となった種市  
高校の生徒達が、潜水作業に  
ついて説明を行います!

### ★海の潜水士デモンストレーションとは



ドック内に注水



潜水士の作業イメージ



東京湾では富栄養化などによる濁りで視界が悪い



潜水士

水中可視化技術により、潜水士の動きや水中の地形・構造物等を見ることができます!

### 【見学会内容】

- ・京浜港ドック一般公開
- ・水中可視化技術を用いて潜水士の水中作業状況を上映

### 【展示内容】

- ・京浜港ドック紹介パネル
- ・潜水作業に用いる装備や機器の実物展示
- ・水中可視化技術の紹介映像

## 2018年

# 10月20日(土)ー10月21日(日)

会場＝京浜港ドック (横浜市神奈川区山内町1ー2)

※大感謝祭会場から連絡バスを運航します。事前予約は不要です。  
直接ドックへ来場も可能ですが、駐車場はありません。ご注意ください。

開催時間＝10:00～17:00(最終日は16:30)

見学会料金＝無料 ※連絡バス乗車料金も無料

主催＝国土交通省関東地方整備局、一般社団法人 日本潜水協会  
共催＝国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
協力＝岩手県立種市高等学校海洋開発科



## 横浜港の発展を支えた京浜港ドック1926～

- ・京浜港ドックは、横浜市神奈川区山内町に位置し、関東地方整備局の前身である内務省横浜土木出張所が、1922(大正11)年に横浜港第三期拡張工事の付帯施設として、当時の大型ケーソン築造のために着工し、1923(大正12)年の関東大震災を挟み、1926(大正15)年4月に竣工した施設である。
- ・現在は関東地方整備局京浜港湾事務所が管理し、大正15年からこれまでに約3,600函(個)ものコンクリート製ケーソンやブロックを製作し、横浜港・川崎港・横須賀港における防波堤や岸壁の整備に貢献し、港の発展を支えた施設である。
- ・現在、京浜港ドックは、実物大の模型実験が可能な実証試験フィールドであり、海洋・港湾新技術の早期の実用化を目指すための試験研究施設として、使用されている。2016(平成28)年からは、民間の新技術開発を促進するため、京浜港ドックを活用した実証試験の公募制度を導入し、産学官連携による実証試験を実施している。

京浜港ドック施設諸元				
長さ(m)	下幅(m)	ゲート幅(m)	深さ(m)	容量(m <sup>3</sup> )
109.0	25.5	18.0	8.5	26,800



平成10年代のケーソン製作状況

### 京浜港ドックと横浜赤レンガ倉庫の位置



#### 京浜港ドックへのACCESS

横浜駅東口バスターミナル4番乗り場から市営バス48系統「中央市場前」下車  
※駐車場はありません

#### 大感謝祭会場へのACCESS

桜木町駅より徒歩約15分  
馬車道駅より徒歩約6分

## イベントスケジュール

### 10月20日(土)

- 13:30～ 海の潜水土デモンストレーション
- 14:00～ 技術解説「水中可視化技術について」
- 15:00～ 海の潜水土デモンストレーション

### 10月21日(日)

- 11:30～ 海の潜水土デモンストレーション
- 13:00～ 海の潜水土デモンストレーション
- 14:00～ 技術解説「音響映像について」
- 14:30～ 海の潜水土デモンストレーション

☆両日とも、会場で潜水装備等の説明を実施します。  
また技術解説の内容については、変更となる可能性があります。

## 連絡バス時刻表

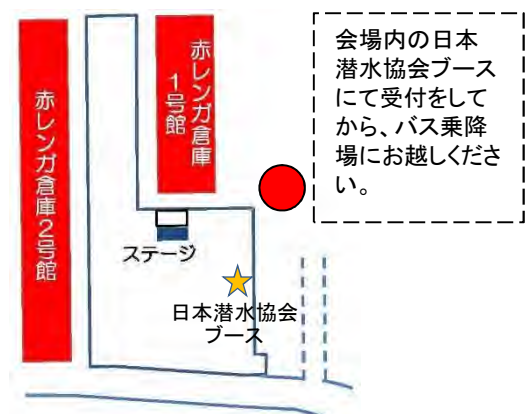
### 横浜赤レンガ倉庫発 → 京浜港ドック行

備考	10月20日(土)		10月21日(日)		備考
		時			
		10	30		
		11	00	30	11:30開始 潜水デモ
		12	00		13:00開始 潜水デモ
13:30開始 潜水デモ	30	00	13	15	45
15:00開始 潜水デモ	30	00	14	15	45
	30	00	15	15	
		00	16		

### 京浜港ドック発 → 横浜赤レンガ倉庫行

10月20日(土)		10月21日(日)		
	時			
	10			
	11	00	30	
	12	00	30	
	30	13	45	
30	00	14	15	45
30	00	15	15	45
30	00	16		

### 大感謝祭会場の連絡バス乗降場の位置



会場内の日本潜水協会ブースにて受付をしてから、バス乗降場にお越しください。

※詳細は東京湾大感謝祭2018の公式サイトをご覧ください  
<http://www.tbsaisei.com/fes/>